

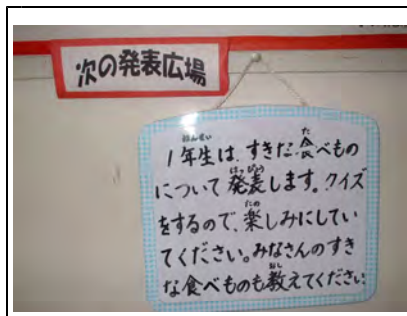
2 - 4	全校児童で取り組む「発表広場」の実践
-------	--------------------

1 はじめに

少人数の学校では、より多くの聞き手に向かって話したり発表したりする活動をたくさん経験させることが大切である。そこで、全体場で発表する機会を増やすことを目的として、毎週金曜日に「発表広場」を設定している。自分たちが学習したことや体験したことを全校児童に伝え、その後の感想を交流することによって、双方向の伝え合いの場になるように工夫している。

2 「発表広場」の流れ

発表広場の企画・準備
広場で発表することを目的として、意欲化を図り、各学年で企画・準備を行う。発表のめあてを明確にし、表現の方法を工夫させる。



< 発表広場の予告 >

発表広場の予告
発表広場の内容とめあてをホワイトボードに記入して、階段踊り場に掲示。朝の放送でも知らせ、児童の関心を高める。

発表広場 ... 白波タイム（15分間）で実施。	進行は児童会が行う。
<ol style="list-style-type: none"> 1 学年の発表・・・ 担当学年が発表を行う。 2 感想交流・・・ 発表についての感想を全校児童が発表し合う。 3 先生からのお話・・・ 教師が輪番で担当。発表や感想交流の評価を行う。よい点をほめ、不十分な点は、今後の課題として児童に知らせる。 	

感想カードの掲示
発表広場の感想を児童全員が感想カードに書いて、階段踊り場に掲示する。広場の感想交流の時間には限りがあるので、書くことで全員の感想が伝えられるようにする。また、内容のよいものを朝の放送で紹介し、励みにしたり、次の機会の参考にしたりする。



< 発表広場の様子 >

3 成果と課題

話し手は、聞き手によく分かるように掲示物を大きくしたり、クイズ形式を取り入れたりして、相手意識や目的意識をもった発表となっている。また、感想を述べ合うことで、それぞれの考え方の似ているところや自分とは違うところなどに気が付き、互いに認め合う姿勢が見られた。しかし、練習を重ねた内容や、予め決まっていることについては発表できても、予想外の展開になると、とっさに対応できなかつたり、自信がもてずに声が小さくなつたりする場面が見られる。そこで、地域の人との交流を活発に行うなど、表現活動の場を広げることと機会を更に増やしていくことで経験を積み、臨機応変に対応できる力を育てていきたい。